

むこうはらカレー



向原保育園では手作りカレーを使用しています。チキン、ポーク、魚、ひよこ豆や季節の野菜など具材を変えて献立に取り入れています。

市販のルーとは異なるオリジナルカレーに挑戦してみませんか？向原保育園のカレーレシピです！参考にしてください

材料（作りやすい量）

玉ねぎ（スライス）	1 kg
にんにく（みじん切り）	10 g
生姜（みじん切り）	10 g
ラード	20 g
★ウスターソース	25 g
★ケチャップ	50 g
★黒こしょう、カルダモン、 オールスパイス、クミン、 ナツメグ、シナモン、 グローブ	各小 1/4
★ローリエ	2 枚
★フルーツチャツネ	60 g
★トマト缶	150 g

残ったら
冷凍保存して
ください！



作り方

- 1、熱したフライパンにラードを溶かして、にんにく、生姜を入れて香りを出します。（焦げないように注意）
- 2、玉ねぎを加えてしんなりするまで炒めます
- 3、合わせた調味料（★）を2に加えて煮詰めていきます（火加減に注意しながら、焦げないように時々混ぜてください）
- 4、全体量が半分くらいになったらルーの出来上がりです
- 5、カレー材料を炒め、とりがら出汁とルーを加えて煮ます。塩で味を整えます
- 6、水で溶いた薄力粉を加えて固さを調整します

少し時間に余裕がある時に、お子さんには玉ねぎの皮むきや調味料の混ぜ合わせなどを手伝ってもらいながら作ってみてはいかがでしょうか



子育て情報誌

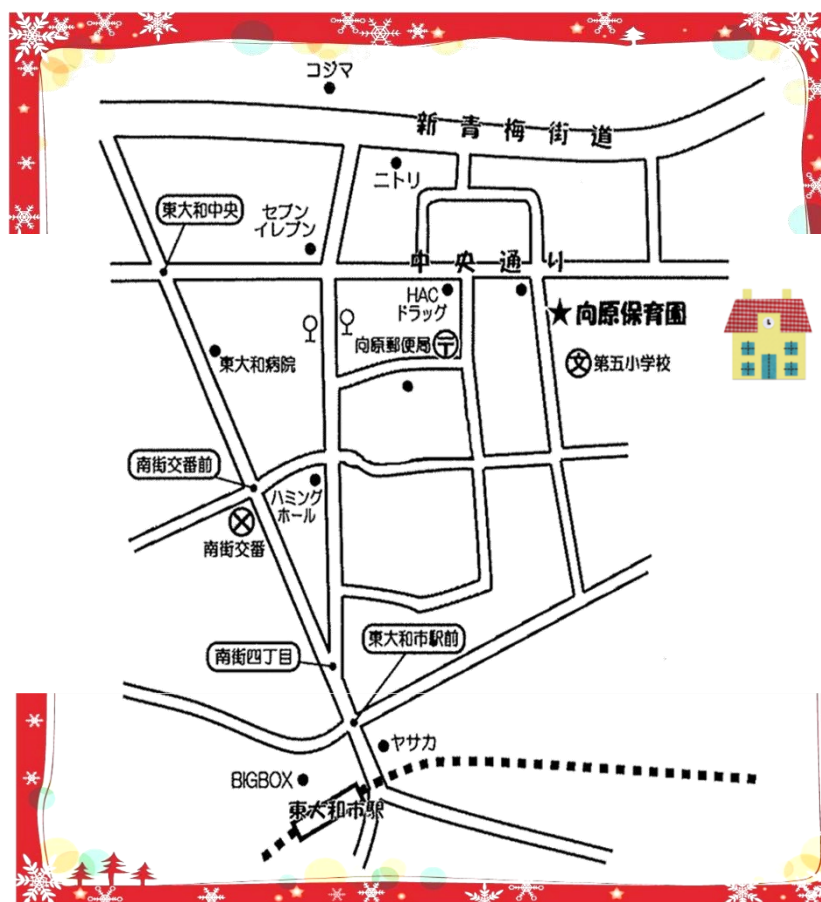
むこうはらだより

No.2 東大和市向原1-4-2

042-563-3833

<http://www.mukouharahoikuen.com/>

つんとした冷たい空気に、ひんやりとした風。もう季節はすっかり冬ですね。保育園の子どもたちは寒くなくても元気いっぱいに過ごしています。コロナウィルスの感染対策を行いつつ、公園で体を動かしたり、落ち葉を拾ったりして遊んでいます。体調に十分気をつけて、過ごしていきたいですね。



向原保育園について



向原保育園では産休明けから就学前までの6年間の中で、乳児は育児担当制、幼児は異年齢混合保育を取り入れています。一人ひとりの成長や発達に合わせて、関わりながら意欲を引き出し、自分で考えて行動できるように援助しています。

<私たちが大切にしている事>

- * 育児担当制
- * 異年齢混合保育
- * あそび
- * わらべうた
- * 課業【環境認識 わらべうた 体操 美術 数（すう） 文学】

<育児担当制>



0～2才児は、食事・排泄・着脱・睡眠等の育児を特定の保育士が行います。園でのお母さんに代わるような存在です。（情緒の安定を大事にし、特定の人からの関りで、信頼関係を築いていきます）

<異年齢混合保育>

3～5才児が1つのクラスで生活、活動をします。年度ごとのクラス替えは基本行わず、兄弟・姉妹のような関係と雰囲気を作ります。（違った立場を経験し、同じクラスの中で自分の力を発揮することができます）



❄️*❄️*❄️* おたのしみ会 ❄️*❄️*❄️*

まつぼっくり

美術館では、今年度作成した美術の作品を飾りました。文学あそびとわらべうたの発表会も行いました。



くるみ

劇あそびが大好きな子どもたち。「桃太郎」の劇あそびを行いました。親子でわらべうたを行い、沢山身体を動かしました。



くり

親子で「サークル編み」を作りました。好きな色や組み合わせを考えて、自分だけの作品を作りました。



🎄🎁 子どもたちのあそびの様子 🎄🎁

0歳児

バケツ、ザル、おもちゃなど何でも手で触ったり、口に入れたり、落としたりして遊びます。感覚を通して「もの」や自分の「からだ」について知っていく年齢です。寝返り、ハイハイ、お座り、つかまり立ち、伝い歩き、そして歩行・・・自分の思うように身体を動かせることに喜びを感じ、試しています。



1歳児

何度も繰り返し遊んでいる中で、自分と物の関係、物と物の関係が分かってきています。下の写真のような出し入れの遊びでは、容器や入れるもの（チェーン、お手玉、布など）で長さ、大きさ、形の違いに気が付き、自然に比べたり分けたりしながら遊んでいます。興味・関心のある事は満足するまでやっています。同じ場所で同じようなことをするので、遊具の量がたくさん必要になる年齢です。



2歳児

物の性質や扱い方がわかってきて、目的を持って物を組み合わせて遊ぶことが出来るようになってきます。赤ちゃんの世話、病院でのやりとり、家を作ってその中でごはんを食べる等、生活の中で自分が見たり経験したりしたことを思い出しながら遊ぶ姿が増えてきています。



つぶやき

私が幼い頃、母の体調が優れず横になっていたら、そのまま眠ってしまったことがありました。その時兄は、私と一緒に風呂に入り、私が眠くなると、寂しくないようにと、いつも以上に布団の上にぬいぐるみをたくさん置いてくれました。私は、寂しい気持ちを忘れるくらい、兄が優しくしてくれたのを覚えています。今そのことを思い出すと、子どもは、自分がやってもらっているに限らず、大人の行動をよく見ています。幼いながらも、母の体調が悪いことや妹の面倒を見てあげなきゃと思ったのではないのでしょうか。自分のちょっとした行動や言葉でも、子どもにとって心に響いたりすることもあるので、一つひとつ大切にしていきたいと思いました。